

お知らせ

立命館アジア太平洋大学

2018年3月22日 配信 APUリリース 2017-57

Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University

私立大学では「日本初」！国内2例目 観光学分野における世界最大級の国際機関 国連世界観光機関（UNWTO）による観光学教育 国際認証「TedQual」（テッドコール）を取得

APUのアジア太平洋学部（APS）観光学分野が、2018年3月21日 世界最大の国際機関である「国連世界観光機関（UNWTO）」が実施する、観光学教育分野において、研究、教育プログラムの質の向上を目指し、世界の観光学教育・研究をリードする大学、研究機関に対して与えられる国際認証、「TedQual」を取得しました。昨年12月に本学にて実施されたインタビューや書類提出などを含む実地監査を経て認証取得となりました。世界の観光学をリードする71の大学が認証を取得しています。

本件ポイント

- 日本の私立大学では、**初の認証取得**。国内では2例目（1校目は国立和歌山大学）
- 国際観光都市別府市に立地するAPUの**観光学分野における国際認証取得**
- 世界における認証校は、71大学のみ

【TedQual認証プログラムとは？】

TedQualとは、国連世界観光機関（United Nations World Tourism Organization: UNWTO）が実施する観光学教育、研究、訓練プログラムの質向上を目的とした認証制度。観光の振興・発展により世界経済的発展、国際平和、人権尊重などに寄与する事が目的。（1975年設立 2003年に国連専門機関へ移行 本部はスペインマドリッド）UNWTOが制定する100項目以上の厳しい選考基準をクリアした大学・研究機関のみが取得することができます。



【TedQual国際認証取得のメリット】

この認証取得により、今後UNWTOがTedQual認証機関を対象に実施する様々な学術プログラムや交流プログラムに参加できるほか、国際的な教育・研究連携をしていく上でさらなるネットワーク構築（大学間・専攻間の交流や、協定締結など）の実現が可能となります。

【世界の認証校数】 71大学

アフリカ：2、アメリカ大陸：17、アジア・オセアニア：23、（日本：和歌山大学、**APU**）
ヨーロッパ：25校、中東：4校

立命館アジア太平洋大学

2018年3月22日 配信 APUリリース 2017-57

立命館アジア太平洋大学学長 出口 治明

2016年に国際経営学部と経営管理研究科がビジネス教育における国際認証AACSBを取得したことに続き、今回アジア太平洋学部が観光分野において権威ある認証を取得できたことは、これまでの取り組みが着実に世界標準で評価されてきたのだと思います。

僕はいつもAPUを「若者の国連」と呼んでいます。今回まさにその国連の専門機関である国連世界観光機関（UNWTO）から認証を得られた事は、世界90ヶ国・地域から学生が集まる世界でも類を見ない多文化環境のAPUにとって大変意味のあることであり、とても嬉しく思っています。この認証を取得した事で、同じ認証を受けている世界の著名な観光分野のプログラムをもつ教育機関と肩を並べて、その機関とのつながりができることとなります。

大学の使命は教育と研究を通じて広く社会に貢献することにあります。APUは地域と密接に関わるグローバルな大学として、地域社会とのつながりを更に強化していきたいと念じています。これから、アジア太平洋地域の観光学教育研究をリードする教育機関の1つとして、世界標準の観光分野のプログラムを通じて、大分県や別府市との連携を深めていく事で、さらに教育研究の質を向上させ国内外での評価を高めていきたいと思っております。



立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部学部長 轟 博志教授

この認証は、カリキュラム・教員活動・学生活動・施設・ガバナンスなど、多岐な項目に亘って査察を受け、世界に通用するプログラムであると認定された観光学プログラムにのみ授与されるものです。この度取得に至ったことは大変名誉なことと思っております。国内では和歌山大学に続き二校目であり、私立大学では初めてです。

TedQualの審査にあたっては、大学のプログラムだけでなく、地域や世界との互恵的な関係性も重視されます。本学は大分県・別府市の全面的な協力によって開学しました。その環境の中で、これまで地域との連携で様々なプログラムを開発・運営してきたこと、また、教職員だけでなく、在学生、卒業生、企業の多大な協力のもと、この認証取得にむけて取り組んだ点が評価されました。その点で、今回の認証は、地域や本学を支えてくださる全てのステークホルダーと共同で勝ち得たものと認識しております。

今後も本認証を土台として、さらなる観光分野のカリキュラム充実と、地域社会や国際社会への貢献を進めて参ります。最後に、認証取得に関わり地域・ステークホルダーの皆様には多大なるお力添えを賜りましたこと、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

